



国民の森林・国有林

有識者懇談会を開催  
地域管理経営計画等について議論

「国有林野の管理経営に関する法律」に基づき、地域管理経営計画と国有林野施業実施計画の経常樹立・変更に係る有識者懇談会を、3月2日に開きました。

2014年度については、6森林計画区における経常樹立に加え、13森林計画区についての変更計画が予定されていることから、これら計画の経常樹立・変更に関し委員の皆様よりご意見をいただきました。



経営樹立に係る有識者懇談会を開催

懇談会では、冒頭、川端省三九州森林管理局長より、「人工林資源の充実、利用の新しい動きを踏まえながら林業・木材産業の成長産業化を進めるとともに、地方創生・山村活性化に寄与・貢献をしたい。また、今回の樹立・変更にあたっては、森林の持つ公益的機能の維持増進を図り

ながら、持続的な森林経営・循環林業を實踐できるように、この一年間検討を行ってきたところであり、委員の皆様方から忌憚のないご意見をいただきました」と挨拶がありました。

続いて、九州森林管理局における経常樹立・変更計画の概要や、今回の経常樹立・変更に初めて反映される「主伐・再造林」の考え方や取り組みについて、局担当者から説明を行った後、審議に入りました。

委員のかたがたからは「主伐・再造林」への取り組みについてご理解をいただくとともに、「再造林にあたっての苗木不足対策」などに関するご意見のほか、「山地災害に対する対策の必要性」「海岸林の再生に関する考え方」「シカ被害対策について」などの貴重なご意見が出力され、活発な議論が行われた後、



挨拶する川端局長

今回の経常樹立・変更についての意義なしとの結論をいただき有識者懇談会を終了しました。(担当：川計画課)



懇談会の様子



座長を務める九州大学大学院農学部吉田茂一郎教授

**最優秀賞は資源活用課 「虹の架け橋」に決定**  
**「花とみどりに囲まれた構内緑化コンクール」表彰式**

12月から取り組んできました「花とみどりに囲まれた構内緑化コンクール」の審査発表及び表彰式が3月12日12時30分から庁舎玄関前で行われ、4課の花壇が表彰されました。

審査委員長の川端局長からは、「審査は、コンセプト、構成・バランス、創造性、アピールの4項目で採点を行い、鮮やかな花壇やトーンを押さえた落ち着いた花壇、長く花を楽しめる花壇など甲乙つけがたい花壇に審査は困難を極めたところです。また、多くの職員が関心を持って取り組んだことで、課内の結束がさらに高まったと思います。」と講評があり、その後、審査結果の発表と入選した4課に表彰状が授与され式を終りました。



厳正な審査の様子

なお、審査の結果は次のとおりです。

- ☆最優秀賞 「虹の架け橋」 資源活用課
  - ☆優秀賞 「ウェルカムガーデン」 総務課
  - ☆優秀賞 「幸せ花時計」 森林整備課
  - ☆アピール賞 「春の便り」 保全課
- (担当：技術普及課)



「虹の架け橋」

資源活用課



「春の便り」

保全課



「幸せ花時計」

森林整備課



「ウェルカムガーデン」

総務課

**一ツ葉海岸で育樹祭**

【宮崎森林管理署】官民一体となった「みんなで創ろう一ツ葉の森林」の取り組みの一環として、明神山国有林で当署・宮崎市みどり推進会議の主催による育樹祭が開かれ、緑の少年団・ボランティアなど約160人が集まりました。

一ツ葉の海岸林の森づくりの取り組みは、今年で10年を迎え、今回の育樹祭の枝打ち箇所も2005年に植栽したクロマツ林で、当時植栽に携わった参加者もおられ、感慨深く枝打ちを行いました。



育樹祭参加者で記念撮影

**県民参加による植樹祭を実施**

【鹿児島森林管理署】「食とみどり・水を守る鹿児島県民の会」主催による植樹祭が韓国岳の麓で開かれ、総勢100人が参加。

会場は、旧放牧実験牧場の採草地の跡地で、野生シカの格好のエサ場となり何年経っても森林に蘇ることがない裸地化した森林で、今回「森林生態系保全再生事業」の一環として開かれました。標高1000以上の会場において、穏やかな天候の下、家族連れや企業の仲間が集り、将来、「紅葉の森」になることを祈りながら、ヤマモミジやクヌギなどを一本、一本丁寧に植えていきました。



丁寧に苗木を植える参加者

# 国有林材供給調整検討委員会を開催

2月19日に本年度4回目の「国有林材供給調整検討委員会」を開きました。

今回も各委員がそれぞれの専門分野からの意見を述べ、  
「現時点で国有林材の供給調整を行うことは要しない。今後、需要増が見込まれるC材の動向に注意が必要である」との結果になりました。

委員からは、「出材量は潤沢であり、価格は下降している。現場作業は、機械化と安全の確保への取り組み、機械、人材の共有化に原をまたいだ取り組みが必要で、こうした取り組みにより材の安定供給につなげていきたい。」

／原木は10月から順調に出荷されている。製品は、住宅着工がそれほど減っていないのに不振で、スギ、スギKD材に販売の手応えがなく価格が不安定化している。供給調整までは必要な

いが、危険水域に入っており、つかみがたい状況である。  
／合板の消費は低迷しておりかなり厳しい状況であるが、九州は良いのではないかと。原木の入荷は悪くなく、11、12月とヒノキの入荷が悪かったが、ここにかけてスギ、ヒノキとも順調な入荷である。4月以降はバイオマ

ス用需要でタイト感がでるのではとの危機感があり、合板用資材の確保に取り組んでいる。  
／基本的状況は変わっておらず、紙の需要減が続いているが、九州では生産調整には至っていない。製紙用原料の集荷困難が続いており、C材の入手努力を続け国産材の使用を続けていきたい。為替安から輸入材も高く、国産材も高い状況である。C材

需要の動きが、A、B、C、D材の力スケード利用を崩しており、紙パルプ原料用も含めて、C材の増量策を模索してほしい。  
／為替の変動などいろいろと問題はあろうが、原木生産を止めることなく、前向きにやっ

ていくことが重要である。木材輸出も製品輸出に変えていくべきで、山の宝を循環利用することが必要であり、その循環が

つづいていくことが重要である。木材輸出も製品輸出に変えていくべきで、山の宝を循環利用することが必要であり、その循環が



議長の遠藤日雄氏



検討委員会の様子

くように国有林、民有林で取り組んでほしい。いろいろと課題はあるが、大きな意味での生産の継続を行ってほしい」などの意見が出されました。  
(担当II地域木材情報分析官)

## 森のセミナーを開催

【熊本南部森林管理署】当署会議室において一般市民約30人が参加し、2014年度最後となる「森のセミナー」を開きました。今回は森林の流域管理システム推進発表大会において当署で発表した、「シカの採食圧から生物多様性を守るための取組等について」を紹介した後、熊本大学薬学部



講義に聞き入る参加者

から、希少薬用資源である「熊本県産カラコギカエアの再発見とクローン個体の育成、及び成分研究」と題された調査・研究について講義を実施して頂きました。引き続き環境省希少野生動物植物種保存推進員の乙益正隆先生からコクサギやハマクサギが防虫効果のある植物として古くから利用されてきたお話や、ネムノキの開花の状態が農作業の指標とされてきたお話などのほか、色々な植物の人の吉・球磨地方での呼び名や特徴、薬効等についてスライドを使いながら説明して頂きました。参加者からは、現在のシカによる植生被害の深刻さや、森林管理署における対策の取組み等について理解を頂くとともに、希少な植物等を守って行くには地域が一体となって取り組んでいくことの重要性等について理解を深めることが出来た等の意見が聞かれました。

## 特別名勝指定60周年記念植樹

【佐賀森林管理署】佐賀県唐津市にある「虹の松原」は、1955年3月24日に国の特別名勝に指定され、本年度60周年を迎えました。そこで虹の松原で松葉掻き等のボランティア活動等を実施している各団体が「特別名勝指定記念植樹祭」を開き、団体が招待した地元



記念植樹に参加した園児たち

# 一ツ葉海岸防災林整備事業 調査検討委員会を開催

九州森林管理局では、東日本大震災発生をきっかけとして、海岸防災林の持つ津波被害軽減機能等が注目されていることを受け、近い将来発生が懸念される南海トラフ地震に備え、2013年度に「津波等に対する海岸防災林整備方策の検討会」を宮崎県及び鹿児島県で開催し、海岸防災林の機能等について担当者の知見を深めてきたところです。

2014年度については、宮崎県宮崎市の一ツ葉海岸防災林について、津波被害軽減機能等を高度に発揮する海岸防災林を整備することを目的として、学識経験者や地元自治体関係者に委員としてご参加いただき、海岸防災林整備事業調査検討委員会（委員長：独立行政法人 森林総合研究所 東北支所 地域研究監 坂本知己氏）を設置し検討を行ってきました。

検討委員会では、現地調査や宮崎県、宮崎市等の防災に関する計画及び地域のニーズや自然条件等を踏まえ、今後の一ツ葉海岸防災林のあるべき姿について議論し、現況の問題点を抽出した上で、今後の森林整備手法

に関する検討や、作業道等の必要性に関する検討を行いました。

委員会は3回（2014年10月～2015年2月）にわたり開催され、「一ツ葉海岸防災林整備方針」として取りまとめられ、今後、この整備方針に沿って具体的な整備を行うこととしております。

なお、2015年度以降についても、宮崎県北部、宮崎県南部等の海岸防災林の整備方針を

順次策定する予定であり、今後も海岸防災林の機能の高度発揮に向けた取組を進めていくこととしていきます。

（担当：川治山課）



第3回検討委員会（宮崎市）

## 植樹祭を実施

【宮崎北部森林管理署】第22回延岡アースデイが3月15日に延岡市で開かれました。この活動は官公庁や一般ボランティアが市内25箇所に分かれて、清掃作業や植樹作業を行うもので、当署も市内の国有林2箇所において、植樹祭を行いました。当日はあいにくの雨でしたが、抵抗性クロマツや広葉樹などの植栽した苗木にとっては恵みの雨となりました。植樹祭に参加され



親子で苗木を植える参加者

たかたがたは、当署職員の植付け作業などの説明を熱心に聞き、一本一本丁寧に植付けを行っていました。最後は、全員で記念撮影をして解散しました。



東 曜子 さん

6年前に写真教室に通い始めてから、カメラを持って菊池溪谷を歩くことが大好きになりました。

春も、夏も、秋も、そして静かな冬の日も。百円で一日中楽しめる、こんな素敵な場所は他にほのかなかありません。

## マザー・フォレスト （母なる森林）

光を求めて伸びる枝、清らかな空気が、滝の音、しぶき、神秘的な水の色：日頃くすぶっていた小さな悩みを忘れさせ、新たな力を与えてくれる菊池溪谷は、慈しみ深い母親のように感じられます。

そんな大切な森のことを学びたくなり、国有林モニターをさせていただきました。

植樹や下草刈りを何回か「経験」したことがある、という程度の素人なので、広報に登場する「巾着式あみはこわな」「コンテナ苗」「エリートツリー」

「CLT」「木質バイオマス」という言葉は全て初耳でした。9月のモニター会議では、森林と深く関わって暮らされているかたがたから次々に出される真剣な意見や質問に圧倒されるばかりでした。

学んでは忘れ、の繰り返しでしたが、国産材を使おう！という「木づかい運動」のことは、しっかりと印象に残っています。公共の建築物には木材が利用される方向が進められていることや、軽くて強い資材ができてくることも。（技術の進歩には

びっくりしました。）

お洒落で温かみのある木造建築はとも豪華で魅力的です。

全ての建物を木造にしてほしいくらいですが、特に、病める時や年老いていく時に、樹木の香りが漂う場所で過ごせたらどんなに安心できるだろう、と想像しています。

弱くながちな心や体に、母なる森林の生命力を分けてもらえるのではないのでしょうか。

公共の建築物に続き、病院や高齢者の施設についても、できる限り「木づかい」で建てていく、という方向に進んでくれると有り難いと思っています。

（熊本県菊池市在住）

# 人のうごき

4月1日付林野庁長官発令

林野庁国有林野部業務課国有林野管理室長

計画保全部長

吉永俊郎（四国局計画保全部長）

上田浩史（業務管理官）

森林整備部長

関東局総務企画部長

大政康史（林野庁森林整備部研究指導課技術開発推進室長）

森協和正（総務企画部長）

林野庁国有林野部業務課技術開発調査官（国有林野部経営企画課併任）

長崎森林管理署長

矢野彰宏（森林整備部長）

岡本一孝（沖縄森林管理署長）

業務管理官

熊本南部森林管理署長

中山浩次（計画保全部長）

濱田秀一郎（森林整備部技術普及課長）

総務企画部長

大分西部森林管理署長

堂本 整（北海道局計画保全部調査官）

秋山郁男（西都児湯森林管理署長）

大分森林管理署長

川畑宏二（近畿中国局兵庫森林管理署長）

宮崎北部森林管理署長

工藤 孝（森林整備部森林整備課長）

西都児湯森林管理署長

桃木康雄（北海道局空知森林管理署長）

宮崎南部森林管理署長

石神智生（熊本南部森林管理署長）

沖繩森林管理署長

清水俊二（独立行政法人森林総合研究所木育種センター海外協力部海外協力課長）

関東局吾妻森林管理署長

入口 了（大分西部森林管理署長）

中部局木曾森林管理署長

松葉瀬裕之（宮崎南部森林管理署長）

四国局愛媛森林管理署長

川畑充郎（宮崎森林管理署都城支署長）

総務企画部企画調整課長

井堀秀雄（林野庁森林整備部森林利用課環境保全専門官）

総務企画部経理課長

山本一則（総務企画部総務課企画官（安全衛生担当））

計画保全部治山課長

川上伸一（計画保全部専門官（災害調整担当））

森林整備部森林整備課長

古閑博行（森林整備部資源活用課長）

森林整備部資源活用課長

前田三文（計画保全部屋久島森林生態系保全センター所長）

森林整備部普及課長

甲斐博文（森林整備部技術普及課企画官（民有林連携担当））

林野庁林政部木材利用課付

吉本昌朗（総務企画部企画調整課長）

林野庁国有林野部管理課企画官（安全衛生担当）

浪崎 晃（総務企画部経理課長）

宮崎森林管理署都城支署長

山部義臣（計画保全部治山課長）

計画保全部屋久島森林生態系保全センター所長

山下義治（森林整備部企画官（技術開発担当））

計画保全部西表森林生態系保全センター所長

井上 誠（宮崎北部森林管理署長）

総務企画部専門官（契約適正化担当）

山本文雄（林野庁林政部林政課課長補佐（会計経理第一班担当））

上原暁光（沖縄森林管理署次長）

溝越啓二（計画保全部生態系管理指導官）

計画保全部専門官（災害調整担当）

山下 正（計画保全部自然遺産保全調整官）

森林整備部企画官（間伐推進担当）

前杉成美（森林整備部企画官（供給戦略担当））

森林整備部企画官（供給戦略担当）

西 栄二（森林整備部企画官（木材需給対策担当））

計画保全部専門官（災害調整担当）

計画保全部自然遺産保全調整官

計画保全部資源活用課長

計画保全部屋久島森林生態系保全センター所長

森林整備部普及課長

甲斐博文（森林整備部技術普及課企画官（民有林連携担当））

林野庁林政部木材利用課付

吉本昌朗（総務企画部企画調整課長）

林野庁国有林野部管理課企画官（安全衛生担当）

浪崎 晃（総務企画部経理課長）

## 転任挨拶



業務管理官

上田 浩史

一般会計に移行した国有林にとって民有林への貢献、民有林との連携は重要な課題であり、このためのポストが小職を始め局・署に新設されました。これらの皆さんと一緒に地域課題の解決に向けて、九州各地で様々な議論、取り組みを行ったことは得がたい貴重な経験となりました。

人工林資源の充実に伴う主伐・再造林への対応、大規模工場の進出や木質バイオマス発電など

平成25年4月、初めての九州勤務で新設ポストに着任し、あっという間の2年間でした。

## お世話になりました

新たな木材需要への対応、低コスト造林対策、シカ被害対策など、国有林が先導的に取り組むべき課題は山積しています。

一般会計化3年目の今年度、これまでの取り組みをさらに飛躍させていくことが必要です。

九州局の皆さん一人一人が技術力、対外発信能力をより一層向上させ、地域課題解決に向け真摯に取り組む、地域から評価される存在になっていただくことを強く願っています。

大変お世話になりました。ありがとうございました。

りがとうございました。

森林整備部企画官（木材需給対策担当）

熊本森林管理署次長

保全課生態系管理指導官

技術普及課課長補佐

技術普及課技術開発主任官

鎌田敏雄（森林整備部企画官（間伐推進担当））

宮崎森林管理署次長

廣石 功（大分西部署総括事務管理官）

後藤 毅（屋久島森林生態系保全センター専門官（保全課））

猪島浩晴（屋久島森林生態系保全センター生態系管理指導官）

森林整備部企画官（技術開発担当）

富永雄二（計画保全部治山課課長補佐）

松永眞弥（技術普及課課長補佐）

岩本清文（企画調整課企画官（情報処理担当））

技術普及課企画官（民有林連携担当）

森本 明（総務企画部企画調整課課長補佐）

北薩森林管理署次長

企画調整課課長補佐

企画調整課企画官（情報処理担当）

内村圭一（佐賀署森林技術指導官）

総務企画部総務課企画官（安全衛生担当）

長瀨 直（宮崎南部森林管理署森林技術指導官）

岩下哲博（福岡署森林技術指導官）

高木勝一（大隅署総括森林整備課課長補佐）

森林技術・支援センター副所長 古川浩児（技術普及課技術開発主任官）

高村俊郎（北薩森林管理署次長）

屋久島森林管理署次長

興栢美喜夫（経理課支出係課長補佐）

計画課企画官（森林資源評価担当）

総務課共済組合係長 坂口 繁（沖繩署主任事務管理官）

総務企画部企画調整課監査官

下田勝也（計画保全部計画課課長補佐）

山崎 泉（大分署総括事務管理官）

計画課森林施業調整官

総務課給与第一係長 草野真一（総務課給与第二係長）

前田道博（林野庁国有林野部管理課企画官（安全衛生担当））

沖繩森林管理署次長

治山課課長補佐

中村雄二（計画課経営計画官）

経理課支出係長 余瀬秀一（経理課経理第一係長）

長崎森林管理署次長

荒木政明（屋久島署次長）

総務課課長補佐（福利厚生担当）

屋久島森林生態系保全センター生態系管理指導官

立場宏一（熊本南部署事務管理官）

古島勝美（総務企画部総務課課長補佐（総務担当））

計画保全部付

深田隼人（計画課経営計画官）

山崎勇勝（西都児湯署総括事務管理官）

計画課企画係長 小谷 豊（技術普及課緑の普及係長）

## 転任挨拶

### お世話になりました

めて勤務させていただきました。

着任時は、一般会計移行に伴う新たな事務処理や労使関係など、既にレールは敷かれていたところですが、その後の皆様のご努力によって新しい仕組みが定着し、何とか落ち着いてきたのではないかと考えています。

今後は、これまでを検証し、必要な改善を図りながら、しっ

かりした成果が得られるよう進んでいくことが重要だと考えます。在任中は新聞で報道されるような大きな事件や事故もなく、公務災害も2件と着実な減少となり、幸せな1年7ヶ月だったと振り返っています。

九州局は地元の方が多く、初めて勤務する者としては、正直不安もありましたが、皆様に温かく迎え入れていただき、のびのびと仕事させてい

た、西表、屋久島と他では見れない貴重な森林も見せていただきました。

私事でも九州各県を旅し、こんなに見所があったのかと驚きました。肥後の国（もちろんその他の九州、沖縄とも）、忘れ難く、去り難し、もう少し見て、そして試みてみたかったところですが、新任地へ全国を引っ張る九州局の前向きで積極的な風を運んでいけたらと考えています。

大変お世話になりました。

ありがとうございます。

計画課経営計画官 清田 誠（総務課秘書係長）

計画課経営計画官 山口隆志（熊本署主任森林整備官）

屋久島森林生態系保全センター専門官（保全課） 坂本法博（宮崎署都城支署森林整備官）



総務企画部長 森脇 和正

平成25年9月から九州局に初

# 転任挨拶

## お世話になりました



森林整備部長  
矢野 彰宏

この度の異動で林野庁(本庁)へ転勤することになりました。九州局には、平成24年4月から計画部に1年、森林整備部に

2年、計3年間勤務させていただきました。ありがとうございました。

この間、25年4月の一般会計化をはさんで、職員の皆さんとともに楽しく仕事をさせていただきました。

何事にも前向きに、新しいことも先頭を切って取り組む九州局の伝統は本当に素晴らしいと思います。

この場をお借りして感謝申し上げます。今、森林・林業はかつてない変革の時期を迎えています。

戦後、先人が苦勞して植林された人工林がようやく利用可能な段階になり、これから産業としての林業が成長していけるかどうか、ここ数年が重要な時期だと思います。

国有林の役割も企業体としての経営から、民有林を含めた地域林業の発展に貢献していくことへ変わりました。

全国に先駆けて人工林が主役期を迎える九州国有林の取り組みは全国的にも注目されています。

今後とも職員の皆さんが力を合わせて九州からの森林・林業の再生を実現していただけたことを祈念しております。

宮崎署森林技術指導官

井上 正 (西都児湯署森林技術指導官)

宮崎南部署森林技術指導官

山田 茂 (鹿児島署総括治山技術官)

北薩署森林技術指導官

松永善人 (計画課森林施業調整官)

鹿児島署森林技術指導官

佐藤英也 (熊本署地域統括森林官)

屋久島署森林技術指導官

藤川晃久 (鹿児島署総括森林整備官)

沖繩署森林技術指導官

福山拓也 (経理課課長補佐)

宮崎署地域林政調整官

出水 広 (宮崎署森林技術指導官)

佐賀署総括事務管理官

篠村和希 (宮崎北部署総括事務管理官)

大分西部署総括事務管理官

古澤竜喜 (林野庁)

大分署総括事務管理官

奥村 克 (屋久島署森林技術指導官)

宮崎北部署総括事務管理官

有吉正司 (大分署総括森林整備官)

宮崎署総括事務管理官

小野貴行 (総務課給与第一係長)

大分署総括森林整備官

山上哲幸 (大分西部署主任森林整備官)

宮崎署総括森林整備官

築川伸一 (鹿児島署森林技術指導官)

鹿児島署総括森林整備官

上別府 悟 (宮崎署総括森林整備官)

大隅署総括森林整備官

平生陽介 (宮崎署主任森林整備官)

福岡署総括治山技術官

井 孝次 (宮崎署都城支署総括治山技術官)

長崎署総括治山技術官

田上 誠 (治山課審査係長)

熊本署総括治山技術官

高森好文 (福岡署総括治山技術官)

西都児湯署総括治山技術官

藤田康孝 (宮崎南部署主任森林整備官)

宮崎署都城支署総括治山技術官

山下裕之 (治山課調整指導係長)

鹿児島署総括治山技術官

田代美喜男 (西都児湯署総括治山技術官)

治山課調整指導係長  
田中國康 (熊本署総括治山技術官)  
資源活用課生産係長  
犬童伸博 (宮崎署都城支署主任森林整備官)  
森林技術・支援センター森林技術専門官  
田中和利 (森林技術・支援センター業務係長)  
森林技術・支援センター森林技術普及専門官  
池水寛治 (宮崎署主任森林整備官)  
総務課秘書係長  
岩下治喜 (保全課企画係長)

総務課給与第二係長  
佐藤太亮 (大分署森林整備官)  
経理課主計係長  
加藤吉征 (森林整備課企画係長)  
保全課企画係長  
大園裕也 (林野庁)  
保全課保護係長  
蒲池勝也 (福岡署森林整備官)  
治山課国有林治山係長  
和田治仁 (宮崎南部署治山技術官)  
治山課審査係長  
江口 晃 (大隅署治山技術官)  
森林整備課企画係長  
山下誠吾郎 (森林整備課分収係長)

森林整備課分収林係長  
羽野誠一郎 (宮崎署森林官)  
資源活用課収穫係長  
井 崇行 (熊本署森林官)  
技術普及課緑の普及係長  
嶋 徹天 (熊本南部署森林官)  
福岡署森林技術指導官  
副島利博 (佐賀署主任森林整備官)  
佐賀署森林技術指導官  
吉田正一 (長崎署総括治山技術官)  
西都児湯署森林技術指導官  
福岡忠行 (資源活用課生産係長)

宮崎署森林技術指導官  
井上 正 (西都児湯署森林技術指導官)  
宮崎南部署森林技術指導官  
山田 茂 (鹿児島署総括治山技術官)  
北薩署森林技術指導官  
松永善人 (計画課森林施業調整官)  
鹿児島署森林技術指導官  
佐藤英也 (熊本署地域統括森林官)  
屋久島署森林技術指導官  
藤川晃久 (鹿児島署総括森林整備官)  
沖繩署森林技術指導官  
福山拓也 (経理課課長補佐)  
宮崎署地域林政調整官  
出水 広 (宮崎署森林技術指導官)  
佐賀署総括事務管理官  
篠村和希 (宮崎北部署総括事務管理官)  
大分西部署総括事務管理官  
古澤竜喜 (林野庁)  
大分署総括事務管理官  
奥村 克 (屋久島署森林技術指導官)  
宮崎北部署総括事務管理官  
有吉正司 (大分署総括森林整備官)

宮崎署総括事務管理官  
小野貴行 (総務課給与第一係長)  
大分署総括森林整備官  
山上哲幸 (大分西部署主任森林整備官)  
宮崎署総括森林整備官  
築川伸一 (鹿児島署森林技術指導官)  
鹿児島署総括森林整備官  
上別府 悟 (宮崎署総括森林整備官)  
大隅署総括森林整備官  
平生陽介 (宮崎署主任森林整備官)  
福岡署総括治山技術官  
井 孝次 (宮崎署都城支署総括治山技術官)  
長崎署総括治山技術官  
田上 誠 (治山課審査係長)  
熊本署総括治山技術官  
高森好文 (福岡署総括治山技術官)  
西都児湯署総括治山技術官  
藤田康孝 (宮崎南部署主任森林整備官)  
宮崎署都城支署総括治山技術官  
山下裕之 (治山課調整指導係長)  
鹿児島署総括治山技術官  
田代美喜男 (西都児湯署総括治山技術官)  
熊本署主任地域林政調整官  
歌野博幸 (熊本署事務管理官)

# 新規採用者紹介

熊本署主任事務管理官

萩岡茂治(西都児湯署主任事務管理官)

務管理官)

西都児湯署主任事務管理官

竹下清高(宮崎署都城支署主任事務管理官)

任事務管理官)

宮崎署都城支署主任事務管理官

堂園浩睦(鹿児島署事務管理官)

宮崎南部署主任事務管理官

下村裕治(総務課共済組(係長)

北薩署主任事務管理官

山口昌幸(佐賀署首席森林官)

沖繩署主任事務管理官

渡邊治雄(宮崎南部署主任事務管理官)

福岡署主任森林整備官

山崎 武(長崎署首席森林官)

佐賀署主任森林整備官

井上和也(大分署主任森林整備官)

備官)

熊本署主任森林整備官

春山 司(熊本署主任事務管理官)

理官)

熊本南部署主任森林整備官

村山敏彦(宮崎北部署森林整備官)

備官)

大分西部署主任森林整備官

高倉邦彦(福岡署主任森林整備官)

大分署主任森林整備官

廣田光春(大分西部署森林整備官)

備官)

西都児湯署主任森林整備官

中川裕司(宮崎署都城支署主任森林整備官)

任森林整備官)

西都児湯署主任森林整備官

外山三男(宮崎署都城支署首席森林官)

宮崎署主任森林整備官

片山恵介(西都児湯署主任森林整備官)

林整備官)

宮崎署主任森林整備官

緒方省一郎(北薩署主任森林整備官)

備官)

宮崎署主任森林整備官

瀬戸口英昭(鹿児島署主任森林整備官)

林整備官)

宮崎署都城支署主任森林整備官

谷口慎吾(宮崎署都城支署主任森林整備官)

林整備官)

宮崎署都城支署主任森林整備官

嶋崎国浩(北薩署主任森林整備官)

備官)

宮崎南部署主任森林整備官

山川祐一(西都児湯署首席森林官)

林官)

宮崎南部署主任森林整備官

柿本一宏(宮崎署主任森林整備官)

備官)

北薩署主任森林整備官

本村明広(熊本署首席森林官)

官)

北薩署主任森林整備官

福山親幸(大隅署主任森林整備官)

備官)

鹿児島署主任森林整備官

黒谷幸樹(宮崎南部署主任森林整備官)

林整備官)

鹿児島署主任森林整備官

小島洋一(鹿児島署森林整備官)

官)

大隅署主任森林整備官

森 正文(宮崎署都城支署主任森林整備官)

任森林整備官)

大隅署主任森林整備官

宮崎隆太(大隅署森林整備官)

屋久島署主任森林整備官

平田謙吉(鹿児島署首席森林官)

官)

長崎署事務管理官

秋吉勇二(大分署事務管理官)

熊本署事務管理官)

熊本南部署事務管理官

前川康弘(熊本署治山技術官)

内海康雄(長崎署事務管理官)

大分署事務管理官

城下ヒトシ(大分署地域技術官)

西都児湯署事務管理官

山部紗耶佳(西都児湯署地域技術官)

技術官)

宮崎署都城支署事務管理官

湯地幸夫(大隅署事務管理官)

北薩署事務管理官)

北薩署事務管理官

梅木 剛(宮崎北部署森林整備官)

備官)

鹿児島署事務管理官

宮川貴之(宮崎署都城支署事務管理官)

務管理官)

鹿児島署事務管理官

小原敷祐二(屋久島署森林官)

大隅署事務管理官)

大隅署事務管理官

栗林純一(四国局)

福岡署森林整備官)

熊本南部署森林整備官

熊本南部署森林整備官

長)

熊本南部署森林整備官

立山計司(佐賀署森林整備官)

大分西部署森林整備官)

宮崎北部署森林整備官

原口尚也(宮崎南部署森林整備官)

備官)

西都児湯署森林整備官

小山雄平(長崎署森林整備官)

宮崎署森林整備官)

宮崎署都城支署森林整備官

丸橋勝寿(熊本南部署森林官)

宮崎署都城支署森林整備官)

江口誠也(鹿児島署治山技術官)

鹿児島署森林整備官

吉田貴博(宮崎北部署森林整備官)

備官)

熊本署治山技術官

木倉浩一(北薩署治山技術官)

熊本南部署治山技術官)

西山太英(鹿児島署治山技術官)

宮崎北部署治山技術官)

術官)

宮崎署都城支署治山技術官

三浦健司(西都児湯署治山技術官)

術官)

宮崎南部署治山技術官

吉田幸一(宮崎北部署治山技術官)

術官)

北薩署治山技術官

野田誠治(西都児湯署森林官)

鹿児島署治山技術官)

下池和彦(宮崎署都城支署治山技術官)

鹿児島署治山技術官)

術官)

大隅署治山技術官

馬場智宏(熊本南部署森林整備官)

備官)

西都児湯署地域技術官

坂本徹也(宮崎署都城支署地域技術官)

域技術官)

宮崎署地域技術官

橋本麻美(沖繩署地域技術官)

術官)

宮崎署都城支署地域技術官

岩崎貴子(森林整備課)

術官)

宮崎南部署地域技術官

- 屋久島署地域技術官
- 永野達也(福岡署地域技術官)
- 熊本署地域統括森林官
- 酒井昭則(屋久島森林生態系保全セクター自然再生指導官)
- 佐賀署首席森林官
- 山脇 寿(近畿中国局)
- 長崎署首席森林官
- 岩下春記(計画課企画係長)
- 熊本署首席森林官
- 澤田逸男(総務課課長補佐(福利厚生担当))
- 熊本南部署首席森林官
- 吉海裕和(熊本南部署森林官)
- 西都児湯署首席森林官
- 小川義則(宮崎南部署首席森林官)
- 宮崎署首席森林官
- 大平留男(森林技術・支援セクター森林技術普及専門官)
- 宮崎署首席森林官
- 吉川慶一(大隅署主任森林整備官)
- 宮崎署都城支署首席森林官
- 釜 稔(森林技術・支援セクター森林技術専門官)
- 宮崎署都城支署首席森林官
- 由谷浩一(屋久島署首席森林官)
- 宮崎南部署首席森林官
- 中川邦男(宮崎署首席森林官)
- 北薩署首席森林官
- 歌野光康(大隅署首席森林官)
- 鹿兒島署首席森林官
- 森 津積(熊本南部署地域技術官)
- 鹿兒島署首席森林官
- 井川武史(鹿兒島署事務管理官)
- 鹿兒島署首席森林官
- 田中清公(大隅署首席森林官)
- 大隅署首席森林官
- 宮田耕作(鹿兒島署首席森林官)
- 大隅署首席森林官
- 友栗 誠(鹿兒島署首席森林官)
- 屋久島署首席森林官
- 松元正三郎(北薩署首席森林官)
- 佐賀署森林官
- 山元俊博(屋久島署森林官)
- 長崎署森林官
- 下村龍也(経理課主計係長)
- 長崎署森林官
- 森 俊之(宮崎署森林整備官)
- 熊本署森林官
- 今村 誠(北薩署森林官)
- 熊本南部署森林官
- 岩下真仁(熊本署森林官)
- 熊本南部署森林官
- 藤井正明(宮崎署都城支署首席森林官)
- 熊本南部署森林官
- 飯星光吉(鹿兒島署森林整備官)
- 宮崎署森林官
- 大塚 磨(佐賀署森林官)
- 宮崎署都城支署森林官
- 米丸栄輝(大隅署森林官)
- 宮崎南部署森林官
- 岩崎正二(大隅署森林官)
- 北薩署森林官
- 坂田博之(熊本南部署森林整備官)
- 鹿兒島署森林官
- 高木一将(宮崎署都城支署森林官)
- 大隅署森林官
- 宮本一朗(長崎署森林官)
- 大隅署森林官
- 上之段斗波(宮崎南部署森林官)
- 屋久島署森林官
- 松本慎剛(宮崎南部署森林官)
- 企画調整課
- 埜村英明(林野庁)
- 計画課
- 向井伸生(林野庁)
- 治山課
- 松田 遙(鹿兒島署)
- 森林整備課
- 松永直人(大分署)
- 福岡署
- 和田弥己(宮崎署)
- 佐賀署
- 橋本浩次郎(大隅署)
- 長崎署
- 伊藤明雄(熊本署)
- 熊本署
- 古川翔太(福岡署)
- 大分署
- 三國稔典(長崎署)
- 宮崎北部署
- 田畑駿也(西都児湯署)
- 宮崎署
- 尾野亜裕美(企画調整課)
- 宮崎署
- 水野沙保里(計画課)
- 鹿兒島署
- 藤原洋太(熊本署)
- 大隅署
- 森本博之(治山課)
- 沖繩署
- 日當千晶(宮崎南部署)
- 林野庁出向
- 谷貝勇樹(計画課生態系保全係長)
- 林野庁出向
- 出田正哲(長崎署森林官)
- 林野庁出向
- 中西雄一郎(計画課企画官(森林資源評価担当))
- 東北局出向
- 深田成人(屋久島署主任森林整備官)
- 近畿中国局出向
- 生島智英(西都児湯署主任森林整備官)
- 近畿中国局出向
- 竹之内彰(北薩署主任事務管理官)
- (独)九州育種場出向
- 田代祐子(大隅署地域技術官)
- 内閣府出向
- 川口文明(保全課保護係長(担当))

**五島地域森林整備推進協定を締結**

【長崎森林管理署】3月18日、五島市役所において、当署と五島市、五島森林組合の3者が一



調印式を終えた3者

同に会し関係者約30人が出席する中、五島地域森林整備推進協定の調印式が行われました。当署においては対馬流域に続き2例目、五島市岐宿町川原地区の森林941haを対象に林業専用道の開設や作業道の整備を重点的に実施し、効率的な間伐等を推進することとしています。早々には運営会議を開催し、情報の交換・共有を図り、具体的な取り組みを進めて行くことにおいて、今後の五島地域の森林林業の活性化が期待されます。なお、1例目の「対馬地域森林整備推進協定」も、新たに5年間の延長を行い、五島とあわせて離島の民国連携が図られることになりました。

## 「木道利用に係るガイド講習会」を開催

【西表森林生態系保全センター】

当センターと沖繩森林管理署の主催で、森林環境教育の拠点施設として、平成20年度に仲間川の支流の北付川（ニンフナツキカワ）に隣接するマングロープ林及びサガリバナ林内に整備されている木道（延長150m）等の利用を希望する人を対象に「木道利用に係るガイド講習会」を開き、41人のかたがたが受講されました。講習会は、初めて受講の人と2回目以降受講の人に区分して行うことになりました。初めての人の対しては仲間川の自然や法的規制などに関する様々な基本的情報を提供して、当該地域に対する理解を深めてもらうことにしました。その後、2回目以降の人と一緒に西表島を巡る様々な状況や木道の利用に当たっての基本的な注意事項などを伝えました。今後、受講した人たちが設置されている木道を有効に利用して、訪問者に対して西表島の豊かな自然への理解を深められるようになることを期待しています。



講義の様子

## 長い間ご苦労さまでした

- ◇定員内職員◇・・・17人  
3月31日付林野庁長官発令  
有村孝一（大分森林管理署）  
大倉孝行（総務企画部）  
田中則一（総務企画部）  
井出幹雄（総務企画部）  
井田篤雄（西表森林生態系保全センター）  
中原一則（長崎署）  
佐伯敏光（熊本署）  
3月31日付森林管理局長発令  
園田敏明（総務課）
- ◇定員外職員◇・・・16人  
松本晴雄（福岡署）
- 池田健太郎（熊本南部署）  
永田春雄（西都児湯署）  
吉田清男（都城支署）  
鬼塚勝義（都城支署）  
永野政義（都城支署）  
飛岡一成（都城支署）  
加藤正文（宮崎南部署）  
手塚勝行（北薩署）  
山下和則（北薩署）  
山口貞己（北薩署）  
川崎 洋（北薩署）  
水流年文（大隅署）  
日高一二（屋久島署）  
銀屋久夫（屋久島署）  
日高三成（屋久島署）
- 迫口 実（福岡署）  
白石光成（熊本署）  
淵上正広（熊本南部署）  
岩本信也（熊本南部署）  
原田 太（宮崎署）  
草本健一（宮崎署）  
部 隆行（北薩署）  
橋本侯夫（鹿児島署）  
坂梨豪俊（沖繩署）



## 90 ハナイカダ (ミズキ科)

ハナイカダは薄緑色の花が葉の中央に咲く不思議から、1回観察すると忘れられない樹木です。目の高さで観察できます。花は4月から5月に咲きます。花が咲いたのを見つけたら、しっかり観察して下さい。花は2〜3個付いている葉と1個付いている葉があります。ハナイカダは雌雄異株で、花が1個（稀に2〜3個あり）付いているのは雌花で、3個付いているのは雄花です。雌花の下位子房は緑色のいびつな球形の核果となり、黒く熟します。種子を2〜4個含み、甘味があり食べられます。

花が葉の中央に咲くのは、花柄と主脈が進化の過程で花柄と主脈が合着しているためです。花が咲いていると、花柄と主脈を観察し、葉の基部から花の付くところまで太く（二重）になって伸びており、このことがよく分かります。名前は花を付けている葉を筏（いかだ）に見立てて付けられました。山地の木陰などに生えます。若い葉は山菜として利用されます。樹木園では入り口から真っ直ぐ進んだ中央付近の右側に雄花、雌花を観察できます。



ここ数日の雨で咲き誇っていた桜の花も散り、替わって木々の若葉が目鮮やかな季節になってきました▼通勤途中にあるクスノキは歩道一面に古い葉を落とし始め、若葉へ替わっていています▼「若返り」といえば、西日本新聞に「森林の「若返り」を考える」という記事が掲載されています▼九州大学大学院農学研究院教授佐藤宣子氏が「若返り」をキーワードに林業における伐採方法（主伐）についての議論の必要性、消費者にもどこの森林から、どのように伐採された木材なのか関心をもってもらいたいなどの内容でした（4月10日付「今日の新聞から」参照）▼九州森林管理局でも主伐の必要性を認識し、主伐・再造林の計画的な推進に取り組んでいます▼今月には「平成27年度九州森林管理局重取組事項」の記者発表も予定されていて、これらの取り組みについて専門紙だけでなく一般紙へも広報を行う事としています▼この記者発表により一般の方々（消費者）にも九州森林管理局の取り組みに関心を持って頂ければと思います。（つ）